

三多摩支部幹事長・事務局長会議 2025年3月1日 14時～ 京王クラブ

- ・支部長複数年制に向けての議論が進まない→10人程度の検討委員会を編成し討議する。西部3人（山崎、伊藤、中西）東部3人南部4人
- ・総会日程→昭島11月9日（日）、あきる野5月11日（日）、青梅6月21日（土）、国立5月31日（土）、立川10月4or5日、羽村6月14日（土）東大和6月15日（日）、福生5月31日（土）武蔵村山未定

校友会幹事長・事務局長会議 2025年3月8日 13時～ 大隈小講堂

- ・2025 稲門祭福引抽選券の事前投函への一本化について→10月3日必着
当日販売分については福引抽選券は無し
- ・2025年度組織強化費の変更
従来校友会代理発送依頼又は Waseda メールアドレスへの代理送信依頼
→Waseda メールアドレスへの代理送信依頼のみ
- ・バンコク稲門会の事例報告

校友会春季代議員会 2025年3月8日 16時～

総長講話

- ・早稲田大学 150 周年記念事業に対する考え方
150 周年を迎える 2032 年以降 2050 年までに建学精神「世界人類に貢献する人材」を育てる大学となる
- ・大学も本気でスポーツ支援を開始
以前は 44 の体育各部に合計 2 億円→25 年には 3 億円
3 大スポーツ（野球、駅伝、ラグビー）に対し、4 年間の学費免除の奨学金
効果がでてきている→ノルディックスキー世界選手権→葛西優奈金メダル、フェンシング加納、松山パリで金、六大学野球春秋優勝、ラグビー対抗戦優勝、箱根駅伝 4 位入賞
- ・早慶同時合格時の早稲田への進学率が 2024 年、法学部を除き早稲田が慶応を上回っている。（2018 年は逆だった）
- ・人類社会に貢献し活躍しようとするならば、早稲田で学ぶことが 2040 年には日本で、2050 年にはアジアで最も効果的だと世界中の人が思うような大学になる
- ・グローバルエンゲージメントの強化→全員留学の実現、海外の有力大学と緊密な連携
- ・建学の精神を礎に世界に貢献する研究大学となる